

# Tanium™ Direct Connect ユーザガイド

バージョン 1.9.32

2021年12月29日

この文書の内容は予告なく変更されることがあります。また、本書に記載の内容は「現状のまま」提供されており、正確性には万全を期しておりますが、Taniumの顧客販売契約に規定されている保証を除き、明示または暗黙を問わずいかなる保証もしません。別段の規定がない限り、Taniumはいかなる責任も負いません。Taniumおよびそのサプライヤは、Tanium Inc.がかかる損害の可能性を事前に通知されていたとしても、本書の使用または使用できないことから生じる、利益損失やデータ損失をはじめとする間接的損害や特別損害、結果的損害、および付随的損害に対して一切の責任を負いません。

本書で使用されているIPアドレスは、実際のアドレスであることを意図していません。本書に記載されている例、コマンド表示出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は、例示の目的にのみ使用されています。例示コンテンツに実際のIPアドレスが使用されていたとしても、特別な意図はなく、偶然です。

最新のTanium製品のマニュアルについては、<https://docs.tanium.com> を参照してください。

この文書には、第三者が提供するコンテンツや製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）、サービス（「第三者のアイテム」）に対するアクセス手段や、第三者のそうした情報そのものが含まれていることがあります。Tanium Inc.およびその関連会社は、(i)それらの第三者のアイテムに対して責任を負うものではなく、第三者のアイテムに関するすべての保証および責任を明示的に放棄し、(ii)お客様とTaniumとの間の有効な契約に明記されているのでない限り、かかる第三者のアイテムへのアクセスや、利用に起因する損失、費用または損害について責任を負いません。

また、この文書は、特定の第三者のアイテムの使用やTanium製品との組み合わせを求めるものでも、想定するものでもありません。そのような組み合わせによって生じた知的財産権の侵害について、Taniumおよびその関連会社は一切責任を負いません。第三者のアイテムとTanium製品の組み合わせが適切であるかどうか、また第三者の知的財産権を侵害しないかどうかの判定の責任はTaniumではなくお客様にあります。

Taniumは、Tanium Softwareの操作をより直感的にして、成功までの時間を短縮できるよう最高のアクセシビリティ基準の達成に全力で取り組んでいます。高いアクセシビリティ基準を確保するため、Taniumは米国連邦規則、特に1998年のリハビリテーション法の第508項に準拠しています。当社は、長年にわたって製品開発の過程でサードパーティのアクセシビリティ評価を実施してきました。最近では2019年9月、すべての主要製品モジュールについてWCAG 2.1/VPAT 2.3規格に対する包括的な監査を終了しました。Taniumは、見込み客を含むあらゆるお客様が大規模なソリューション計画立案プロセスの一環としてモジュール単位でVPATレポートを入手できるようにしています。

新製品や新機能を続々と提供中、Taniumはテストを実施することでアクセシビリティ指針の徹底を図ります。Taniumは、問題の重要度と変更の範囲を踏まえ、実現可能な範囲でこの徹底に最大限の努力をすることを約束します。これらの目標は、当社の既存のリソースとともに納品が計画されている機能およびリリースにも組み込まれます。

Taniumは、お客様がご使用のTaniumモジュールと有用な技術要件に基づいてソリューションを使いやすくすることに関するお客様のご意見・ご要望をお待ちしています。Taniumのカスタマーコミュニティにとってアクセシビリティ要件は重要であり、当社は全体的な製品のロードマップの中でそうした要件に対する遵守を優先させることを約束します。Taniumは当社の進捗とマイルストーンの透明性を維持し、この作業に関するさらなる質問や話し合いを歓迎します。詳細は、営業担当者にお問い合わせいただくか、Taniumサポート ([support@tanium.com](mailto:support@tanium.com)) または [accessibility@tanium.com](mailto:accessibility@tanium.com) に電子メールでお問い合わせください。

Taniumは米国およびその他の国におけるTanium, Inc.の商標です。記載されているその他の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

© 2021 Tanium Inc. All rights reserved.

# 目次

---

|   |    |
|---|----|
| <b>Direct Connectの概要</b> .....            | 5  |
| アクティブなエンドポイントセッション .....                  | 5  |
| 他のTanium製品との統合 .....                      | 5  |
| Tanium™ Client Management .....           | 5  |
| Tanium™ Enforce .....                     | 5  |
| Tanium™ Performance .....                 | 5  |
| Tanium™ Protect .....                     | 5  |
| Tanium™ Reveal .....                      | 5  |
| Tanium™ Threat Response .....             | 5  |
| <b>はじめに</b> .....                         | 6  |
| 手順1: Direct Connectをインストールおよび設定する .....   | 6  |
| 手順2: ゾーンプロキシを設定する .....                   | 6  |
| <b>Direct Connectの要件</b> .....            | 7  |
| Taniumの依存関係 .....                         | 7  |
| Tanium Module Server .....                | 8  |
| エンドポイント .....                             | 8  |
| サポートされているオペレーティングシステム .....               | 8  |
| ホストとネットワークセキュリティの要件 .....                 | 8  |
| ポート .....                                 | 8  |
| セキュリティの除外 .....                           | 10 |
| ゾーンプロキシサーバの要件 .....                       | 11 |
| ユーザロールの要件 .....                           | 11 |
| <b>Direct Connectのインストール</b> .....        | 15 |
| 使用を開始する前に .....                           | 15 |
| デフォルト設定でDirect Connectをインポートおよび設定する ..... | 15 |
| カスタム設定でDirect Connectをインポートおよび設定する .....  | 16 |
| サービスアカウントを設定する .....                      | 16 |

---

|   |           |
|---|-----------|
| Direct Connectアクショングループを設定する .....                  | 16        |
| エンドポイントとの接続設定をする .....                              | 16        |
| 証明書を設定する .....                                      | 17        |
| Tanium Endpoint Configurationでソリューションの構成を管理する ..... | 18        |
| ゾーンプロキシを設定する .....                                  | 18        |
| 準備 .....  | 19        |
| Direct Connect Zone Proxyをインストールおよび設定する .....       | 19        |
| Taniumソリューションの依存関係を管理する .....                       | 22        |
| Direct Connectをアップグレードする .....                      | 23        |
| Direct Connectのバージョンを確認する .....                     | 23        |
| Taniumソリューションの依存関係を管理する .....                       | 23        |
| 次にやるべきこと .....                                      | 23        |
| <b>アクティブなエンドポイントセッションの確認 .....</b>                  | <b>24</b> |
| <b>エンドポイントとの直接接続のテスト .....</b>                      | <b>25</b> |
| <b>直接接続のトラブルシューティング .....</b>                       | <b>26</b> |
| サポートパッケージを生成する .....                                | 26        |
| ログレベルを変更する .....                                    | 26        |
| エンドポイント接続の問題をトラブルシューティングする .....                    | 26        |
| ゾーンプロキシ経由で接続の問題をトラブルシューティングする .....                 | 27        |
| エンドポイントからDirect Connectツールを削除する .....               | 27        |
| Direct Connectをアンインストールする .....                     | 28        |
| Taniumサポートに問い合わせる .....                             | 28        |

# Direct Connectの概要

Direct Connectは、他のTanium™モジュールに通信チャンネルを提供すると共に、モジュールにまたがって直接エンドポイント接続を設定および運用管理するための一元的な場所を提供します。

Direct Connectを使用すると、エンドポイントとの直接接続を確立するためにTaniumモジュールが共有する接続を設定できます。Direct Connectでは相互認証方式が採用されているため、IPアドレスと自己署名証明書の両方がサポートされています。

## アクティブなエンドポイントセッション

Taniumモジュール間の開いているエンドポイントセッションと保留中のエンドポイントセッションを確認できます。アクティブなエンドポイント接続を使用すると、サーバ上のアクティブな接続を確認できます。詳しくは、「[アクティブなエンドポイントセッションの参照](#)」を参照してください。

## 他のTanium製品との統合

### Tanium™ Client Management

Client ManagementはDirect Connectを使用して、エンドポイントからのクライアント健全性情報にアクセスします。詳細は、以下を参照してください。[Tanium Client Managementユーザガイド：Client Managementサービスでのクライアントの健全性のモニタ](#)。

### Tanium™ Enforce

Enforce暗号化管理ポリシーはDirect Connectを使用して、暗号化処理時にクライアントにある暗号化キーをリカバリキーデータベースに安全に転送します。詳細は、以下を参照してください。[Enforceユーザガイド：暗号化管理](#)。

### Tanium™ Performance

Direct ConnectとPerformanceを組み合わせると、単一のエンドポイントからプロセスレベルの履歴データを表示して、分析とトラブルシューティングに利用できます。詳細については、[Performanceユーザガイド：エンドポイントとの直接接続](#)を参照してください。

### Tanium™ Protect

Protectの暗号化管理ポリシーはDirect Connectを使用して、エンドポイントから暗号化キーを安全に取得します。詳細は、以下を参照してください。[Protectユーザガイド：暗号化管理](#)。

### Tanium™ Reveal

RevealはDirect Connectを使用して、設定されたルールとパターンに一致するエンドポイント上のファイルを表示します。詳細については、[Revealユーザガイド：一致ルールの調査](#)および、[Revealユーザガイド：一致パターンの検証](#)を参照してください。

### Tanium™ Threat Response

Threat ResponseはDirect Connectを使用して、ライブエンドポイントに接続したり、データを探索したりします。詳細は、以下を参照してください。[Tanium Threat Responseユーザガイド：ライブエンドポイントとの接続とデータの探索](#)。

# はじめに

## 手順1: Direct Connectをインストールおよび設定する

Direct Connectのインストールおよび設定は、デフォルト設定を使用して自動構成することも(Tanium Core Platform 7.4.2以降のみ)、カスタム設定を使用した手動構成することもできます。

詳細については、[Direct Connectのインストール\(15ページ\)](#)を参照してください。

## 手順2: ゾーンプロキシを設定する

Zone Server経由でModule Serverに接続するエンドポイントでDirect Connectを使用する場合は、ゾーンプロキシを設定する必要があります。

詳細については、[ゾーンプロキシを設定](#)を参照してください。

# Direct Connectの要件

Direct Connectをインストールおよび使用するにあたっては、要件を確認してください。

## Taniumの依存関係

環境が以下の要件に適合していることを確認します。

| コンポーネント               | 要件  |
|-----------------------|---|
| Tanium™ Core Platform | <ul style="list-style-type: none"><li>7.3.314.4250以降</li><li>7.4.1.1939以降</li></ul>   |
| Tanium™ Appliance     | <p>(任意)Zone ServerにTanium Applianceを使用する場合は、Taniumオペレーティングシステム(TanOS)1.5.2以降を使用する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>TanOS 1.5.2～1.5.4で、Direct Connect Zone Proxyをインストールするには、TanOSシェルを使用する必要があります。</li><li>TanOS 1.5.5またはそれ以降の場合は、Zone ServerアプライアンスのTanium Operations (Taniumの操作)メニューを使用してDirect Connect Zone Proxyをインストールすることができます。詳細については、<a href="#">Applianceデプロイガイド: Direct Connect Zone Proxyをインストールする</a>を参照してください。All-in-OneロールのTanium ApplianceにDirect Connect Zone Proxyをインストールするには、TanOSシェルを使用します。</li></ul>           |
| Tanium™ Client        | <p>サポートされている任意のTanium Clientバージョン。各OSでサポートされているTanium Clientのバージョンについては、<a href="#">Tanium Client Managementユーザガイド: クライアントのバージョンとホストシステムの要件</a>を参照してください。</p> <p>リストされていないクライアントバージョンを使用する場合、特定の製品機能は利用できない可能性があります。または、リストされたクライアントバージョンのいずれかにアップグレードすることによってのみ解決できる安定性の問題が発生する可能性があります。</p>   |
| Tanium™ の製品           | <ul style="list-style-type: none"><li>Tanium™ Endpoint Configuration 1.2以降 (Tanium™ Client Management 1.5以降に含まれる)</li><li>Tanium Protectは任意ですが、Direct Connect 1.3.xまたはそれ以降をインストールして、Protectと併用する場合は、Protect 2.1.1以降を使用する必要があります。</li></ul> <p>Tanium™ Client Recorder Extensionを使用する次のいずれかのTanium™モジュールを使用する場合は、以下のバージョンを使用する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Tanium™ Integrity Monitor 1.7.0.0035以降</li><li>Tanium™ Map 1.1.1.0006以降</li><li>Tanium™ Threat Response 1.2.0.0037以降</li><li>Tanium™ Trace 2.9.0.0035以降</li></ul> |

# Tanium Module Server

Direct Connectがインストールされると、Module Server上で1つのサービスとして実行されます。使用状況によりませんが、Module Serverへの影響は小さいです。

## エンドポイント

### サポートされているオペレーティングシステム

Direct Connectは、以下のエンドポイントオペレーティングシステムに対応しています。

| オペレーティングシステム | バージョン  | 注  |
|--------------|--|--|
| Windows      | <ul style="list-style-type: none"><li>Windows 7 Service Pack 1以降</li><li>Windows Server 2008 R2 Service Pack 1以降</li></ul> | Windows 7 Service Pack 1にはMicrosoft <a href="#">KB2758857</a> が必要です。 |
| macOS        | Tanium Clientサポートと同じです。 <a href="#">Tanium Client Managementユーザガイド: クライアントのバージョンとホストシステムの要件</a> を参照してください。                 |  |
| Linux        | Tanium Clientサポートと同じです。 <a href="#">Tanium Client Managementユーザガイド: クライアントのバージョンとホストシステムの要件</a> を参照してください。                 |  |

## ホストとネットワークセキュリティの要件

Direct Connectを実行するには、特定のポートとプロセスが必要です。

### ポート

Direct Connectには、TLS 1.2(RSA 2048ビット)を使用してHTTPS通信する次のポートが必要です。

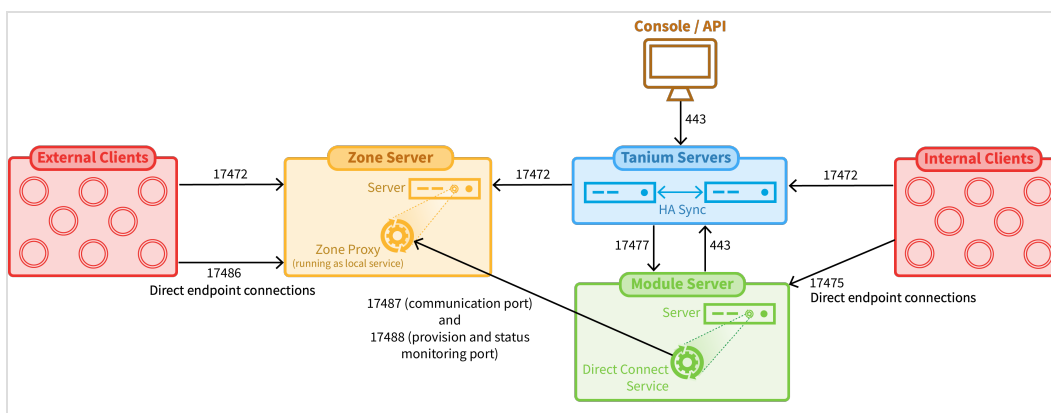
| 情報元               | 接続先                      | ポート   | Protocol | 目的   |
|-------------------|--------------------------|-------|----------|--|
| Tanium Client(内部) | Module Server            | 17475 | TCP      | 内部クライアントとのエンドポイント接続にModule Serverが使用。  |
| Tanium Client(外部) | Zone Server <sup>1</sup> | 17486 | TCP      | 外部クライアントとのエンドポイント接続にZone Serverが使用。<br>デフォルトのポート番号は17486です。ゾーンプロキシの設定時に必要に応じて、別のポート番号を指定することができます。 |



| 情報元           | 接続先                      | ポート   | Protocol | 目的  |
|---------------|--------------------------|-------|----------|---|
| Module Server | Zone Server <sup>1</sup> | 17487 | TCP      | Zone ServerによってModule Serverとの接続に使用されます。デフォルトのポート番号は17487です。ゾーンプロキシの設定時に必要に応じて、別のポート番号を指定することができます。   |
|               |                          | 17488 | TCP      | Zone ServerとModule Server間の通信を可能にします。TanOSでは、Direct Connect Zone ProxyインストーラによってZone Server上のポート17488が自動的に開かれます。Windowsでは、このポートを手動で開く必要があります。 |
| Tanium Server | Module Server            | 17477 | TCP      | Tanium Serverはポート17477でModule Serverとの接続を開始します。   |

<sup>1</sup> これらのポートは、Zone Serverを使用する場合にのみ必要です。

アプリケーションIDベースのルールではなく、TCPベースのルールを使用してTaniumトラフィックのポートを開くようにファイアウォールポリシーを設定します。たとえば、Palo Alto Networksのファイアウォールであれば、アプリケーションオブジェクトやアプリケーショングループではなく、サービスオブジェクトやサービスグループを使用してルールを設定します。



Direct Connectでは、TLS通信での情報の暗号化で次の暗号スイートがサポートされています。

- ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384
- ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384
- ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256
- ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256
- ECDHE-ECDSA-AES256-SHA384
- ECDHE-RSA-AES256-SHA384
- ECDHE-ECDSA-AES128-SHA256
- ECDHE-RSA-AES128-SHA256

## セキュリティの除外

未知のホストシステムプロセスを監視およびブロックするためにセキュリティソフトウェアが環境内で使用されている場合、セキュリティ管理者はTaniumプロセスを干渉なく実行できるように除外を作成する必要があります。Taniumで定義するすべてのセキュリティ除外のリストについては、[Tanium Core Platformデプロイリファレンスガイド](#)を参照してください。[ホストシステムセキュリティの除外](#)を参照してください。

### Direct Connectのセキュリティ除外

| 対象デバイス         | 注                        | プロセス  |
|----------------|--------------------------|---|
| Module Server  |                          | <Module Server>\services\endpoint-configuration-service\TaniumEndpointConfigService.exe |
| Windowsエンドポイント |                          | <Tanium Client>\TaniumClientExtensions.dll  |
|                |                          | <Tanium Client>\TaniumClientExtensions.dll.sig  |
|                |                          | <Tanium Client>\extensions\TaniumDEC.dll  |
|                |                          | <Tanium Client>\extensions\TaniumDEC.dll.sig  |
|                | 7.2.xクライアント <sup>1</sup> | <Tanium Client>\Python27\TPython.exe  |
|                | 7.4.xクライアント <sup>1</sup> | <Tanium Client>\Python38\TPython.exe  |
|                | 7.4.xクライアント              | <Tanium Client>\Python38\*.dll  |
|                |                          | <Tanium Client>\TaniumCX.exe  |
| macOSエンドポイント   |                          | <Tanium Client>/libTaniumClientExtensions.dylib   |
|                |                          | <Tanium Client>/libTaniumClientExtensions.dylib.sig                                     |
|                |                          | <Tanium Client>/extensions/libTaniumDEC.dylib   |
|                |                          | <Tanium Client>/extensions/libTaniumDEC.dylib.sig                                       |
|                | 7.2.xクライアント              | <Tanium Client>/python27/bin/pybin  |
|                | 7.4.xクライアント              | <Tanium Client>/python38/bin/pybin  |
|                |                          | <Tanium Client>/TaniumCX  |

## Direct Connectのセキュリティ除外 (続き)

| 対象デバイス       | 注           | プロセス   |
|--------------|-------------|--|
| Linuxエンドポイント |             | <Tanium Client>/libTaniumClientExtensions.so     |
|              |             | <Tanium Client>/libTaniumClientExtensions.so.sig |
|              |             | <Tanium Client>/extensions/libTaniumDEC.so       |
|              |             | <Tanium Client>/extensions/libTaniumDEC.so.sig   |
|              | 7.2.xクライアント | <Tanium Client>/python27/bin/pybin               |
|              | 7.4.xクライアント | <Tanium Client>/python38/bin/pybin               |
|              |             | <Tanium Client>/TaniumCX                         |

<sup>1</sup>TPythonでインストールを許可するには、SHA2サポートが必要です。

## ゾーンプロキシサーバの要件

Direct Connectを使用して、Zone Server経由でモジュールサーバにルーティングされるエンドポイントに接続する場合は、そのZone ServerにDirect Connect Zone Proxyをインストールおよび設定する必要があります。詳細は、「[ゾーンプロキシを設定する](#)」を参照してください。

最良の結果を得るには、Zone Serverの手前でロードバランサを使用しないでください。ロードバランサを使用する必要がある場合は、バランサを持続TCP接続に設定し、Direct Connect Zone Proxyで設定するエンドポイントのインバウンドポートのポートはロードバランサ上で開いておく必要があります。デフォルトでは、このポートは17486です。

## ユーザロールの要件

次の表は、Direct Connectを使用するのに必要なロールのアクセス権限をまとめています。ロールベースのアクセス制御(RBAC)、ロールのアクセス権限、および関連するコンテンツセットについての詳細は、[Tanium Core Platformユーザガイド: RBACの管理](#)を参照してください。

### Direct Connectユーザロールの権限

| アクセス権限   | Direct Connect管理者 | Direct Connectユーザ | Direct Connect読み取り専用ユーザ | Direct Connectサービスアカウント <sup>3</sup> | 直接接続エンドポイント構成承認者 <sup>2</sup> |
|--|-------------------|-------------------|-------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| <b>Direct Connectの表示<sup>1</sup></b><br>ユーザにDirect Connectワークベンチへのアクセスを許可します |                   |                   |                         |                                      |                               |

Direct Connectユーザーロールの権限 (続き)

| アクセス権限   | Direct Connect管理者 | Direct Connectユーザー | Direct Connect読み取り専用ユーザー | Direct Connectサービスアカウント <sup>3</sup> | 直接接続エンドポイント構成承認者 <sup>2</sup> |
|--|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| <b>Direct Connectセッションの読み取り</b><br>ユーザーにエンドポイント接続の表示を許可します     |                   |                    |                          |                                      |                               |
| <b>Direct Connectセッションの書き込み</b><br>ユーザーにエンドポイント接続の作成と管理を許可します  |                   |                    |                          |                                      |                               |
| <b>Direct Connect設定の読み取り</b><br>ユーザーにDirect Connect設定の表示を許可します |                   |                    |                          |                                      |                               |
| <b>Direct Connect設定の書き込み</b><br>ユーザーにDirect Connect設定の修正を許可します |                   |                    |                          |                                      |                               |
| <b>Direct Connectログの読み取り</b><br>ユーザーにDirect Connectログの表示を許可します |                   |                    |                          |                                      |                               |
| <b>Direct Connect Cronの実行</b><br>サービスアカウントの操作を許可します            |                   |                    |                          |                                      |                               |

Direct Connectユーザーロールの権限 (続き)

| アクセス権限  | Direct Connect管理者 | Direct Connectユーザ | Direct Connect読み取り専用ユーザ | Direct Connectサービスアカウント <sup>3</sup> | 直接接続エンドポイント構成承認者 <sup>2</sup> |
|---|-------------------|-------------------|-------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| <b>Direct Connect Endpoint Configurationの承認</b><br><br>Direct ConnectのEndpoint Configuration項目の承認許可 |                   |                   |                         |                                      |                               |

<sup>1</sup> Direct Connectをインストールするには、**署名付きコンテンツインポート** micro adminアクセス権限 (Tanium Core Platform 7.4以降) または Administratorの予約ロールが必要です。

<sup>2</sup> このロールは、Tanium Endpoint Configurationに対するモジュールアクセス権限を提供します。このロールに付与されているEndpoint Configurationアクセス権限はTanium Consoleで確認できます。詳細は、以下を参照してください。[Tanium Endpoint Configurationユーザガイド: ユーザロール要件](#)。

<sup>3</sup> Tanium Client Managementをインストールした後でEndpoint Configurationをインストールする場合、デフォルトでは、モジュールサービスアカウントが開始する構成変更(ツールのデプロイなど)には承認が必要です。**[Endpoint Configuration Bypass Approval (エンドポイント設定のバイパス承認)]**アクセス権限をこのロールに適用し、関連するコンテンツセットを追加すると、モジュール生成の構成変更に対する承認をバイパスできます。詳細は、[Tanium Endpoint Configurationユーザガイド: ユーザロールの要件](#)を参照してください。

提供されているDirect Connect Advancedユーザーロール権限

| アクセス権限                          | アクセス許可用コンテンツセット | Direct Connect管理者 | Direct Connect読み取り専用ユーザ | Direct Connectサービスアカウント | Direct Connectユーザ | Direct Connect Endpoint Configuration承認者 |
|---------------------------------|-----------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|--|
| Read Sensor (センサーの読み取り)         | 予約              |                   |                         |                         |                   |  |
| Read Sensor (センサーの読み取り)         | ベース             |                   |                         |                         |                   |  |
| Read Sensor (センサーの読み取り)         | Direct Connect  |                   |                         |                         |                   |  |
| Read Action (アクションの読み取り)        | Direct Connect  |                   |                         |                         |                   |  |
| Read Own Action (自身のアクションの読み取り) | Direct Connect  |                   |                         |                         |                   |  |

提供されているDirect Connect Advancedユーザーロール権限 (続き)

| アクセス権限                                   | アクセス許可用コンテンツセット        | Direct Connect 管理者 | Direct Connect読み取り専用ユーザー | Direct Connectサービスアカウント | Direct Connectユーザー | Direct Connect Endpoint Configuration承認者 |
|--|------------------------|--------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------|--|
| Write Action (アクションの書き込み)                | Direct Connect         |                    |                          |                         |                    |  |
| Show Preview (プレビューの表示)                  | Direct Connect         |                    |                          |                         |                    |  |
| Read Plugin (プラグインの読み取り)                 | Direct Connect         |                    |                          |                         |                    |  |
| Execute Plugin (プラグインの実行)                | Direct Connect         |                    |                          |                         |                    |  |
| Execute Plugin (プラグインの実行)                | Endpoint Configuration |                    |                          |                         |                    |  |
| Read Package (パッケージの読み取り)                | Direct Connect         |                    |                          |                         |                    |  |
| Write Package (パッケージの書き込み)               | Direct Connect         |                    |                          |                         |                    |  |
| Read Saved Question (保存されたQuestionの読み取り) | 予約                     |                    |                          |                         |                    |  |
| Read Saved Question (保存されたQuestionの読み取り) | デフォルト                  |                    |                          |                         |                    |  |
| Read Saved Question (保存されたQuestionの読み取り) | Direct Connect         |                    |                          |                         |                    |  |

コンテンツセットとアクセス権限についての詳細および説明については、[Tanium Core Platformユーザーガイド: ユーザとユーザーグループ](#)を参照してください。

# Direct Connectのインストール

[[Tanium Solutions \(Taniumソリューション\)](#)] ページを使用して、Direct Connectをインストールし、自動または手動設定を選択します。

- **デフォルト設定での自動設定** (Tanium Core Platform 7.4.2以降のみ): Direct Connectは、必要なすべての依存関係およびその他の選択された製品と共にインストールされます。インストール後、Tanium Serverは推奨されるデフォルト設定を自動的に設定します。このオプションは、ほとんどのデプロイのベストプラクティスです。Direct Connectの自動設定についての詳細は、[デフォルト設定でDirect Connectをインポートおよび設定する\(15ページ\)](#)を参照してください。
- **カスタム設定を使用した手動構成**: Direct Connectのインストール後に、必要な設定を手動で行う必要があります。このオプションは、推奨されるデフォルト設定とは異なる設定をDirect Connectが必要とする場合にのみ選択します。詳細は、[カスタム設定でDirect Connectをインポートおよび設定する\(16ページ\)](#)を参照してください。

[Automatic configuration with default settings (デフォルト設定を利用した自動設定)] オプションを使用します。

## 使用を開始する前に

- [リリースノート](#)をお読みください。
- [Direct Connectの要件\(7ページ\)](#)を確認してください。
- 旧バージョンからアップグレードする場合は、[Direct Connectをアップグレードする](#)を参照してください。

## デフォルト設定でDirect Connectをインポートおよび設定する

自動設定でDirect Connectをインポートすると、次のデフォルト設定が適用されます。

- Direct Connectサービスアカウントは、モジュールのインポートに使用したアカウントに設定されます。
- Direct Connectアクショングループは、`[All Computers (すべてのコンピュータ)]` コンピュータグループに設定されます。
- **Endpoint Connection (エンドポイント接続)**設定のFully Qualified Domain Name (完全修飾ドメイン名)設定には、Tanium ServerのIPアドレスに最も近い、最初に検出された外部IPv4アドレスが設定されます。  
このドメイン名は、すべての直接エンドポイント接続のすべてのエンドポイントがModule Serverに解決される名前である必要があります。初期インストールと設定が完了すると、Direct Connectの設定の[Endpoint Connection (エンドポイント接続)]タブでこの値を確認できるようになります。

Direct Connectをインポートして、デフォルト設定を適用するには、必ず、[Tanium Consoleユーザガイド](#)の手順の実行時に[Apply Tanium recommended configurations (Tanium推奨設定を適用)]チェックボックスを選択してください。[Taniumモジュールの管理](#)を参照してください。インポート後に、正しいバージョンがインストールされていることを確認します。[Direct Connectのバージョンを確認する\(23ページ\)](#)を参照してください。

## カスタム設定でDirect Connectをインポートおよび設定する

デフォルト設定を自動的に適用することなくDirect Connectをインポートするには、必ず、[Tanium Console ユーザガイド](#)の手順の実行時に[Apply Tanium recommended configurations (Tanium推奨設定を適用)] チェックボックスをオフにします。[Taniumモジュールの管理](#)を参照してください。インポート後に、正しいバージョンがインストールされていることを確認します。[Direct Connectのバージョンを確認する\(23ページ\)](#)を参照してください。

### サービスアカウントを設定する

Direct Connectサービスアカウントは、Direct Connectサービスのバックグラウンド処理を実行します。このユーザには、次のロールが必要です。

- Direct Connectサービスアカウント
- Data Collection Operator関係

Tanium Client Managementをインストールした後でEndpoint Configurationをインストールする場合、デフォルトでは、モジュールサービスアカウントが開始する構成変更(ツールのデプロイなど)には承認が必要です。**[Endpoint Configuration Bypass Approval (エンドポイント設定のバイパス承認)]**アクセス権限をこのロールに適用し、関連するコンテンツセットを追加すると、モジュール生成の構成変更に対する承認をバイパスできます。詳細は、[Tanium Endpoint Configuration ユーザガイド: ユーザロールの要件](#)を参照してください。

1. メインメニューから **[Administration (運用管理)] > [Shared Services (共有サービス)] > [Direct Connect]** に移動して、Direct Connectの **Home (ホーム)** ページを開きます。Direct Connectの**Home (ホーム)**ページで、**[Settings (設定)]** をクリックし、**[Service Account (サービスアカウント)]** タブを開きます。
2. サービスアカウントの設定を更新し、**[Save (保存)]** をクリックします。

### Direct Connectアクショングループを設定する

デフォルトではDirect Connectアクショングループは、**No Computers** コンピュータグループに設定されます。アクショングループを、**[All Computers (すべてのコンピュータ)]**または定義した任意のコンピュータグループに設定できます。

1. メインメニューから、**[Administration (管理)] > [Actions (アクション)] > [Scheduled Actions (スケジュール済みアクション)]**に移動します。
2. アクショングループのリストで**Tanium Direct Connect**をクリックします。
3. Direct Connectに使用するエンドポイントグループのコンピュータグループを選択します。**[Save (保存)]** をクリックします。

### エンドポイントとの接続設定をする

エンドポイント接続設定で、Module Serverとの接続に使用するドメイン名と、Module Serverおよびエンドポイントとの接続認証のための証明書、接続に使用するポートを指定します。



1. Direct ConnectのHome (ホーム)ページで [Settings (設定)] をクリックし、[Endpoint Connection (エンドポイント接続)] タブを開きます。
2. [Fully Qualified Domain Name (完全修飾ドメイン名)] セクションで、Module Serverとの接続に使用するドメイン名を指定します。指定するドメイン名は、すべての直接エンドポイント接続のすべてのエンドポイントがModule Serverに解決される名前である必要があります。Direct Connectは、指定された名前の形式が妥当であることを確認します。入力されたドメイン名が正しいことを確認します。
3. デフォルトでは、Port (ポート)には17475が設定されます。必要に応じて、このポートは変更することができます。このポートへの着信接続が、該当するファイアウォール構成によって許可されていることを確認します。
4. [Action Lock (アクションロック)] セクションでは、エンドポイントでアクションロックが有効な場合のDirect Connectの動作を指定します。
  1. すべての直接接続アクションをブロック
  2. 新規接続を許可
  3. 新規接続と設定の変更を許可

詳細については、[Tanium Consoleユーザガイド：アクションロックの管理](#)を参照してください。

5. [Save (保存)] をクリックします。
6. パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

完全修飾ドメイン名の検証に成功すると、成功メッセージが表示されます。

エンドポイント接続設定が正常に保存されました。

コンテンツの作成が進行中です。接続設定が完了すると、エンドポイントにデプロイされます。

エラーが発生した場合は、完全修飾ドメイン名を修正し、再度保存します。情報が検証され、保存に成功すると、サポート対象の各オペレーティングシステムのパッケージが、直接接続の使用に必要な設定情報とともに作成されます。それらパッケージは、スケジュール済みアクションを使用してTanium Direct Connectアクショングループに配布されます。

## 証明書を設定する

Tanium Module Serverおよびエンドポイントとの接続認証のための証明書を設定します。

1. Direct ConnectのHome (ホーム)ページで、[Settings (設定)] をクリックし、[Certificates (証明書)] タブを開きます。
2. デフォルトでは、[Server Certificate (サーバ証明書)]セクションでは、[Install a new certificate (新規証明書をインストールする)]オプションが選択されており、初期設定中では変更できません。エンドポイントが接続を開始すると、サーバ認証のための証明書が生成およびインストールされます。  
サーバに証明書をインストールされると、その証明書の有効期限日が表示されます。証明書がインストールされている場合は、[Renew (更新)]を選択することで証明書を更新できます。
3. デフォルトでは、[Client Certificate (クライアント証明書)]セクションでは、[Install a new certificate (新規証明書をインストールする)] オプションが選択されており、初期設定中では変更できません。エンドポイントがサーバへの接続権限を持つTanium Clientであることを認証するための証明書が生成およびインストールされ、エンドポイントにデプロイされます。

証明書がインストールされると、その証明書の有効期限日が表示されます。証明書がインストールされている場合は、**[Renew (更新)]**を選択することで証明書を更新できます。

4. **[Save (保存)]** をクリックします。
5. パスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。

## Tanium Endpoint Configurationでソリューションの構成を管理する

Taniumエンドポイント設定は、Taniumソリューションの構成情報と必要なツールをエンドポイントに提供します。エンドポイント設定は、従来Taniumの追加機能に付随していた設定アクションを統合し、ソリューションの構成を実施してから、その構成がエンドポイントに到達するまでの間にタイミングエラーが発生する可能性を排除します。このように設定を管理することで、Tanium機能のインストール、設定、および使用する時間が大幅に短縮されるとともに、エンドポイントのグループをより柔軟に特定の設定の対象にすることができます。

エンドポイント設定は、Tanium Client Managementの一部としてインストールされます。詳細は、以下を参照してください。[Tanium Client Management ユーザガイド: Client Managementのインストール](#)

また、エンドポイント設定を使用して、また、エンドポイント設定の承認を管理することもできます。たとえば、エンドポイント設定で承認権限を持つユーザが構成の変更を承認するまで構成変更がデプロイされないようにできます。Direct Connectの設定変更の承認に必要なロールと権限についての詳細は、「[ユーザロールの要件\(11ページ\)](#)」を参照してください。

エンドポイント設定を使用して承認を管理するには、構成の承認を有効にする必要があります。

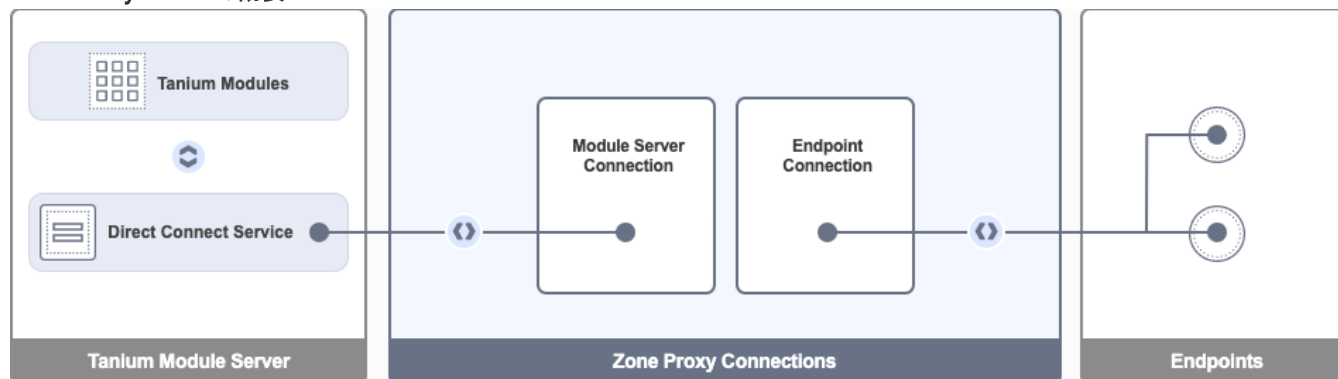
1. メインメニューから、**[Administration (管理)] > [Shared Services (共有サービス)] > [Endpoint Configuration (エンドポイント設定)]** に移動して、エンドポイント設定の **[Overview (概要)]** ページを開きます。
2. **[Settings (設定)]** をクリックし、**[Global (グローバル)]** タブをクリックします。
3. **[Enable configuration approvals (構成の承認を有効化)]** を選択し、**[Save (保存)]** をクリックします。

エンドポイント設定についての詳細は、[Tanium エンドポイント設定 ユーザガイド](#)を参照してください。

## ゾーンプロキシを設定する

必要に応じてゾーンプロキシを設定することで、Tanium™ Zone Server経由でのエンドポイント接続を有効にできます。Zone Server経由でModule Serverに接続するエンドポイントがある場合、Direct Connectを使用するにはこの設定が必須です。

## Zone Proxy Serverの概要



最良の結果を得るには、Zone Serverの手前でロードバランサを使用しないでください。ロードバランサを使用する必要がある場合は、バランサを持続TCP接続に設定し、Direct Connect Zone Proxyで設定する**エンドポイントのインバウンドポート**のポートはロードバランサ上で開いておく必要があります。デフォルトでは、このポートは17486です。

### 準備

Zone Serverオペレーティングシステムを使用している場合は、Taniumサポートに連絡して、Direct Connect Zone Proxy Installerファイル入手します。詳細は、[Taniumサポートに問い合わせる\(28ページ\)](#)を参照してください。

必要なポートがすべて使用可能であることを確認します。詳細については、[ホストとネットワークセキュリティの要件](#)を参照してください。

### DIRECT CONNECT ZONE PROXYをインストールおよび設定する

1. Direct Connect Zone Proxy InstallerをZone Serverにコピーします。
2. Zone ServerでDirect Connect Zone Proxy Installerを実行して、Direct Connect Zone Proxyをインストールします。

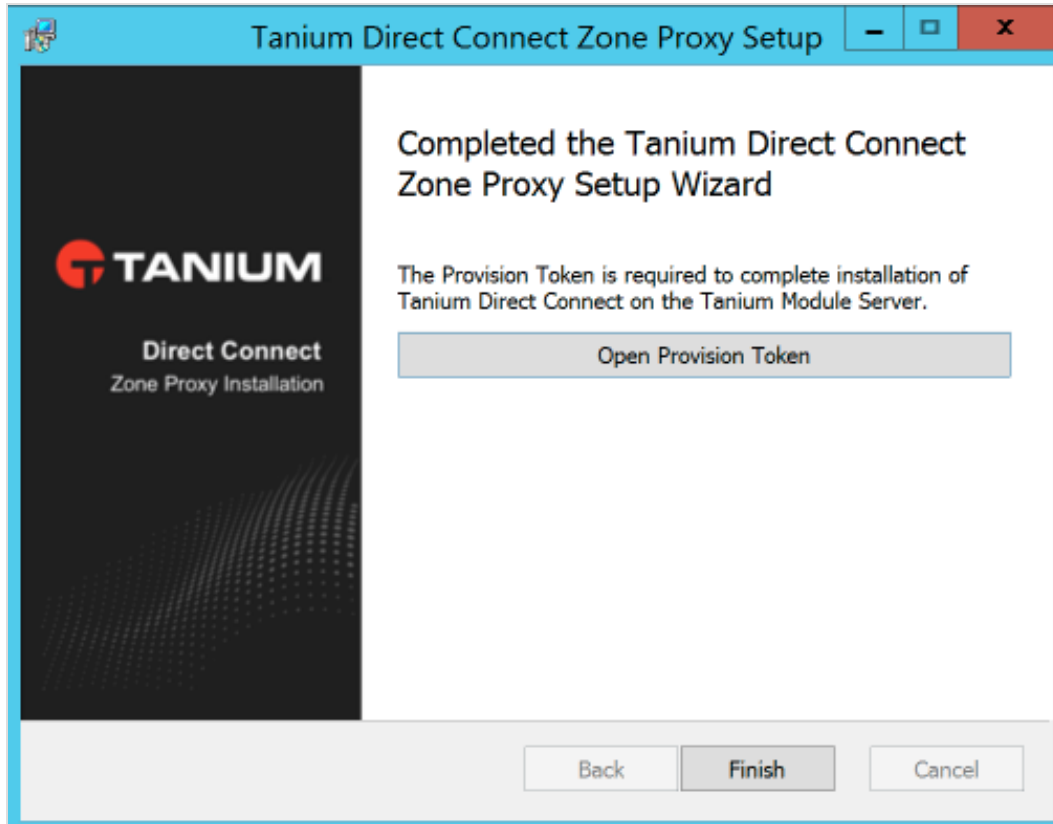
1. TanOS 1.5.2～1.5.4にDirect Connect Zone Proxyをインストールするには、TanOSシェルを使用する必要があります。
2. TanOS 1.5.5またはそれ以降のZone Serverアプライアンスの場合は、Tanium OperationsメニューからDirect Connect Zone Proxyをインストールできます。詳細については、[Applianceデプロイガイド: Direct Connect Zone Proxyをインストールする](#)を参照してください。

インストールプロセスでは、プロビジョニングシークレットと証明書(プロビジョニングペイロードと呼ばれる)が生成されます。プロビジョニングペイロードはprovision.txtに保存されます。このファイルは次のディレクトリにあります。

1. **TanOS:** <Tanium Install Directory>/TaniumDirectConnectZoneProxy/settings/PROVISION.txt  
TanOSへのインストールでは、インストールを実行しているコンソールには、Provision Secretと証明書も表示されます。プロビジョニングシークレットおよび証明書は、コンソールまたはPROVISION.txtファイルのどちらからもコピーできます。

2. Windows: <Tanium Install Directory>\Tanium Direct Connect Zone Proxy\settings\PROVISION.txt

Windowsへのインストールの最後に、[Open Provision Token (プロビジョニングトークンを開く)]をクリックしてPROVISION.txtを開きます。このファイルから、プロビジョニングシークレットおよび証明書をコピーできます。



以降の設定手順で使用するこれらのテキストは、インストール中にコピーするか、またはprovision.txtから取得します。例：

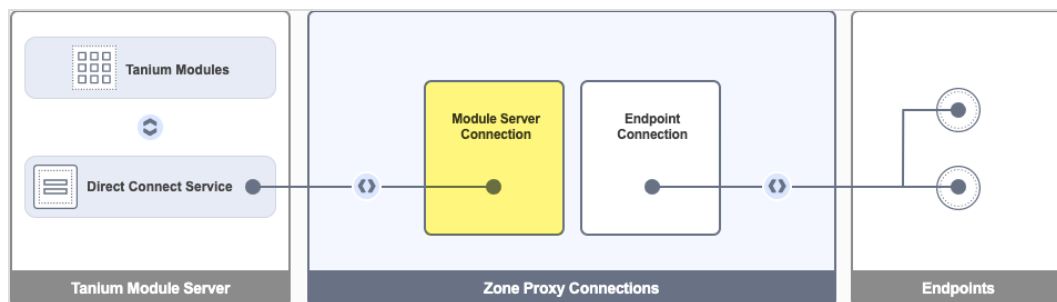
```
-----BEGIN PROVISION SECRET-----  
+EPQlEuUloBizbexjtshLuoxhNHA0JuMeOAEwFq/OKpEk6+jUJbFPx8Do1+vL22F  
geNrd4/+wbsZwTgL3EUsqg==  
-----END PROVISION SECRET-----  
-----BEGIN CERTIFICATE-----  
MIIC7TCCAdWgAwIBAgIgaWi2sO+h6dq/XIroZlvK96/sHqxcMRWvkLXPrZrb5pAw  
r3AxeSY2NpzDmVcQFNlyUhyR8QOr5hRE7AF9gGKDei6A  
-----END CERTIFICATE-----
```

上図は、インストール時にコピーするProvision Secretと証明書値の例を示しています。コンテンツは意図的に切り詰められ、そのまま使用することはできません。証明書のピン留めが機能するには、インストール環境の値を使用する必要があります。実際の環境でこの例のProvision Secretと証明書を使用すると、設定に失敗します。

必要に応じて、インストーラを再実行して新しいプロビジョニングペイロードを生成できます。

インストールが完了し、プロビジョニングペイロード(プロビジョニングシークレットと証明書)を保存したら、Direct Connectに戻ります。

3. Direct Connectのメニューで[Zone Proxies (ゾーンプロキシ)]をクリックします。
4. [Add Zone Proxy (ゾーンプロキシを追加)]をクリックします。
5. ゾーンプロキシの名前を指定します。
6. インストール中に保存したプロビジョニングシークレットおよび証明書を[Provision Payload (プロビジョニングペイロード)]フィールドに貼り付けます。
7. **Module Server接続**を設定します。



- a. **ゾーンプロキシホスト**を指定します。

この値は、Zone Serverとの接続にModule Serverが使用するホスト名かIPアドレスです。これが、Module Serverが解決可能なZone Serverの内部IPアドレスかホスト名、または完全修飾ドメイン名になります。

例: `DMZZoneServer.internal.local`

- b. **Bind IP Address (バインドIPアドレス)**を指定します。

この値は、Module Serverとの接続にZone Serverが使用するバインドIPアドレスです。これが、Module Serverが到達可能なZone Serverの内部IPアドレスになります。

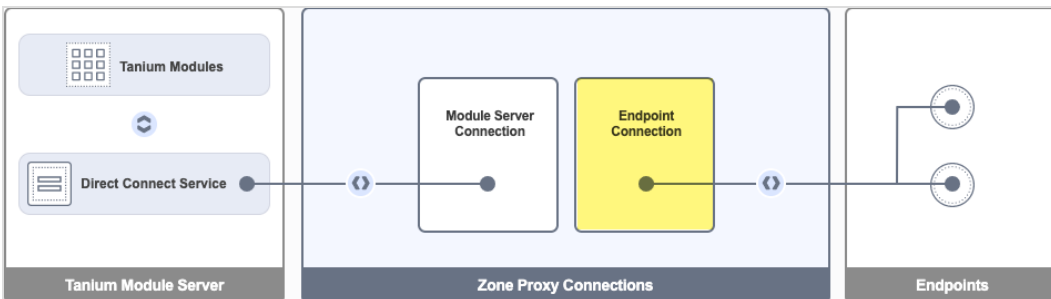
この値を使用して、マルチホームサーバ上のモジュールサーバ接続でバインドするZone Server上のIPv4インターフェースを指定できます。すべてのインターフェースで待機するには、`0.0.0.0`を指定します。

ほとんどの環境では、この値はModule ServerのIPアドレスと同じではありません。

- c. **Port (ポート)**を指定します。

この値は、Zone Serverがモジュールサーバ接続に使用するバインドポートです。デフォルト値は17487です。

## 8. Endpoint Connection (エンドポイント接続)を設定します。



### a. ゾーンプロキシホストを指定します。

この値は、Zone Serverとの接続にエンドポイントが使用するホスト名かIPアドレスです。これが、エンドポイントが解決できるZone Serverの外部IPアドレスか完全修飾ドメイン名になります。この値は、インターネットルーティング可能なパブリックIPアドレスかホスト名です。例: `MyZoneServer.company.com`

### b. Bind IP Address (バインドIPアドレス)を指定します。

この値は、Zone Serverがエンドポイントとの接続に使用するバインドIPアドレスです。これが、エンドポイントが到達可能なZone Serverの外部IPアドレスになります。この値は、インターネットルーティング可能なパブリックIPアドレスです。この値を使用して、マルチホームサーバー上のエンドポイント接続でバインドするZone Server上のIPv4インタフェースを指定できます。すべてのインタフェースで待機するには、`0.0.0.0`を指定します。

### c. Port (ポート)を指定します。

この値は、Zone Serverがエンドポイントとの接続に使用するバインドポートです。デフォルト値は17486です。

## 9. [Save (保存)] をクリックします。

## 10. パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

[Status (ステータス)] 列にはゾーンプロキシのステータスが表示されます。設定が完了すると、ステータスが[Connected (接続)]になります。

プロビジョニングプロセスのため、既存のゾーンプロキシ設定を変更することはできません。必要に応じて、設定を削除して、別の値で再作成できます。設定を削除するには、その設定の上にカーソルを置いて、[Delete (削除)]をクリックします。

このページから、既存のゾーンプロキシのステータスとアクティビティを確認することもできます。

## Taniumソリューションの依存関係を管理する

初めてDirect Connectワークベンチを起動すると、Tanium Consoleは、Direct Connectに必要なすべての依存関係の必要なバージョンがインストールされているか確認します。Direct Connectワークベンチを読み込むには、必要なTanium依存関係のすべてがインストールされている必要があります。環境にインストールされていないTanium依存関係があると、バナーが表示されます。Tanium Consoleは、必要なTanium依存関係と必要なバージョンを一覧表示します。

1. Tanium Consoleが依存関係として挙げたモジュールおよび共有サービスをインストールします。詳しくは、『[Tanium Console ユーザガイド](#)』の「[特定のソリューションをインポート/再インポート/更新する](#)」を参照してください。
2. メインメニューから[Modules (モジュール)] > Direct Connect に移動してDirect Connectの[Overview (概要)]ページを開きます。

## Direct Connectをアップグレードする

Direct Connectをアップグレードする手順は、[Tanium Console ユーザガイド](#)をご覧ください。[Taniumモジュールの管理](#)を参照してください。アップグレード後に、正しいバージョンがインストールされていることを確認します。[Direct Connectのバージョンを確認する\(23ページ\)](#)を参照してください。

## Direct Connectのバージョンを確認する

Direct Connectのインポートまたはアップグレード後、正しいバージョンがインストールされていることを確認します。

1. ブラウザを更新します。
2. メインメニューから[Administration (管理)] > [Shared Services (共有サービス)] > [Direct Connect] に移動して、Direct Connectの [Overview (概要)] ページを開きます。
3. バージョン情報を表示するには、Info をクリックします。

## Taniumソリューションの依存関係を管理する

初めてDirect Connectワークベンチを起動すると、Tanium Consoleは、Direct Connectに必要なすべての依存関係に必要なバージョンがインストールされていることを確認します。Direct Connectワークベンチを読み込むには、必要なTanium依存関係のすべてがインストールされている必要があります。環境にインストールされていないTanium依存関係があると、バナーが表示されます。Tanium Consoleは、必要なTanium依存関係と必要なバージョンを一覧表示します。

1. メインメニューから [Administration (管理)] > [Configuration (構成)] > [Solutions (ソリューション)] に移動します。
2. 必要なソリューションを選択し、[Import Selected (選択をインポート)] をクリックして、[Begin Import (インポートを開始)] をクリックします。インポートが完了すると、[Taniumソリューション] ページに戻ります。
3. 必要なTanium依存関係をすべてインポートしたら、メインメニューから [Administration (運用管理)] > [Shared Services (共有サービス)] Direct Connectに移動して、Direct Connectの [Overview (概要)] ページを開きます。

## 次にやるべきこと

Direct Connectの使用については、[はじめに\(6ページ\)](#)を参照してください。

# アクティブなエンドポイントセッションの確認

Direct Connectを使用すると、エンドポイントとTanium Module Server間のすべての接続を可視化することができます。Direct ConnectのHome (ホーム)ページの[Active Connections (アクティブ接続)]セクションには、Taniumモジュール間で開かれているすべてのDirect Connectセッションが表示されます。

グリッドには、アクティブなセッションごとに詳細が表示されます。

- **Computer Name:** エンドポイントのコンピュータ名。
- **Tanium Client ID:** 接続に使用されているエンドポイントID。
- **IPアドレス:** エンドポイントのIPアドレス。
- **Direct Connectのプロキシ:** プロキシサーバの名前(該当する場合)。
- **アクションステータス:** [Open Session (セッションを開く)] アクションの現在のステータス。ステータス値は、[Creating (作成中)]、[Downloading (ダウンロード中)]、[Running (実行中)]、[Error (エラー)]、[Succeeded (成功)]、[Not Succeeded (不成功)]、[Complete (完了)]、[Closed (終了)]のいずれかです。
- **Direct Connectのステータス:** セッションの現在のステータス。
- **Duration (時間の長さ):** そのエンドポイントで初めて接続が確立されてからの経過時間。
- **前回のメッセージ:** エンドポイントから最後にメッセージを受信してからの経過時間。



# エンドポイントとの直接接続のテスト

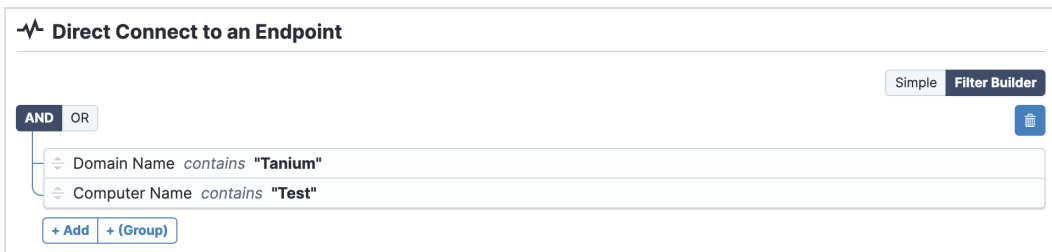
Direct Connectを使用すると、公式に接続を作成することなくエンドポイントとの接続をテストできます。接続のテストは、Taniumモジュールのユーザーがエンドポイントに接続できることを確認したり、接続で問題が発生した場合にトラブルシューティングするための有用なツールです。

Direct ConnectのHome (ホーム)ページの[Direct Connect to an Endpoint (エンドポイントにDirect Connect)] セクションで目的のエンドポイントを検索します。

- この単純な検索機能を使用するには、接続をテストするエンドポイントのIPアドレスまたはコンピュータ名 (Computer Nameセンサーで表示される名前)を入力します。結果でエンドポイントを選択します。



- フィルタを使用するには、[Filter Builder (フィルタビルダ)] をクリックします。目的のエンドポイントを検索するクエリを作成します。高度フィルタを使用すると、一致条件に基づいてQuestion結果をフィルタリングすることができます。



+をクリックして、フィ

ルタ条件を追加します:

- Add Row (行を追加):** 1つまたは複数の条件を追加する。
- Add Group (グループを追加):** ブール演算子を入れ子にし、[Add Row (行を追加)]を使用して入れ子になった表現を構築する場合に、このオプションを選択します。

テスト接続に失敗した場合は、「[直接接続のトラブルシューティング\(26ページ\)](#)」を参照してください。

# 直接接続のトラブルシューティング

トラブルシューティングのために情報を収集してTaniumに送信するには、ログなどの関連情報を収集します。

## サポートパッケージを生成する

トラブルシューティングに使用するDirect Connectサービスの現在の状態に関する情報を収集します。情報は、ブラウザでダウンロードできるZIPファイルとして保存されます。

1. Direct Connectのホームページでヘルプ | をクリックして、[Troubleshooting (トラブルシューティング)] タブをクリックします。
2. [Generate Support Package (サポートパッケージの生成)] をクリックします。
3. [Download Support Package (サポートパッケージのダウンロード)] ボタンをクリックして、ローカルのダウンロード用ディレクトリにZIPファイルをダウンロードします。
4. Taniumサポートに問い合わせ、ZIPファイルを送信する最適なオプションを決めてください。詳細は、[Taniumサポートに問い合わせる\(28ページ\)](#)を参照してください。

## ログレベルを変更する

より詳細なログが必要な場合は、ログレベルを変更できます。

1. Direct Connectのホームページでヘルプ | をクリックして、[Troubleshooting (トラブルシューティング)] タブをクリックします。
2. 必要に応じてログレベルを調整します。  
ログレベル値は、`trace`、`debug`、`info`(デフォルト)、`warn`、`error`、`fatal`のいずれかです。

この更新により、以降のログ記録のログレベルが変更されます。これは、サポートパッケージにある以前にログされたイベントに関するデータには影響しません。

## エンドポイント接続の問題をトラブルシューティングする

エンドポイント接続が試みられると、Direct Connectは、接続が成功するまで、エンドポイントに設定されているすべてのTanium ServerまたはZone Serverについて接続を繰り返します。

1. `LastGoodServerName`(利用可能な場合)
2. 最後に接続が成功したサーバ
3. 最も接続が成功したサーバ
4. `ServerName`(指定する場合)
5. `ServerNameList`に指定されている任意のサーバ

LastGoodServerName、ServerName、およびServerNameListについての詳細は、以下を参照してください。[Tanium Client Management ユーザガイド: TaaSTanium Core Platform サーバとの接続の設定](#)。

エンドポイント接続を確立できない場合は、[Action History (アクション履歴)] ページから [Deploy Direct Connect (Direct Connect のデプロイ)] - [Open Session (セッションを開く)] - [Operating System (オペレーティングシステム)] - [Session ID (セッションID)] アクションのステータスを確認します。

アクションは実行されたが、成功しなかった場合は、エンドポイント上の <Tanium Client>/Logs/extensions0.txt ログを確認します。エンドポイントが、Direct Connect 設定の [Endpoint Connection (エンドポイント接続)] タブで設定した完全修飾ドメイン名とポートを使用して Module Server に接続できることを確認します。

エンドポイントに対してアクションが実行されなかった場合は、エンドポイントが Direct Connect アクショングループのメンバーであり、かつ最新のツールがインストールされていることを確認します。

## ゾーンプロキシ経由で接続の問題をトラブルシューティングする

Zone Server 経由で Module Server に接続するエンドポイントで Direct Connect を使用する場合は、Direct Connect Zone Proxy をインストールおよび設定する必要があります。詳細については、[ゾーンプロキシを設定](#) を参照してください。

Direct Connect Zone Proxy をインストールおよび設定した後、エンドポイント接続を確立できない場合は、Direct Connect Zone Proxy ログでエラーがないか確認してください。<Tanium>/TaniumDirectConnectZoneProxy/logs/proxy.log。

## エンドポイントから Direct Connect ツールを削除する

エンドポイントまたはコンピュータグループから Direct Connect ツールを削除するアクションをデプロイすることができます。使用できるアクションは、Windows エンドポイントと Windows 以外のエンドポイントとで分かれています。

1. Interact で、ツールを削除するコンピュータを対象にします。たとえば、特定のオペレーティングシステムを対象とする Question を実行するとしましょう。

```
Get Endpoint Configuration - Tools Status from all machines with Is <OS> equals True。例:  
Get Endpoint Configuration - Tools Status from all machines with Is Windows equals True
```

2. 結果で、Direct Connect の行を選択し、必要に応じてドリルダウンして、Direct Connect ツールを削除する対象を選択します。詳細は、『[Tanium Interact ユーザガイド](#)』を参照してください。[Question の結果の管理](#) を参照してください。
3. [Deploy Action (アクションをデプロイ)] をクリックします。
4. [Deploy Action (アクションをデプロイ)] ページで [Enter package name here (ここにパッケージ名を入力)] ボックスに Endpoint Configuration - Uninstall を入力し、対象にするエンドポイントに従って [Endpoint Configuration - Uninstall Tool (ツールのアンインストール) [Windows]] または [Endpoint Configuration - Uninstall Tool (ツールのアンインストール) [Non-Windows]] を選択します。
5. [Tool Name (ツール名)] で Direct Connect を選択します。

6. (任意) デフォルトでは、削除したツールを再インストールすることはできません。ツールを自動的に再インストールできるようにするには、**[Block reinstallation (再インストールをブロック)]** を選択解除します。ほぼすぐに再インストールが行われます。

エンドポイントに対する再インストールがブロックされている場合、モニターのデプロイ時には、対象のエンドポイントに従って、**[Endpoint Configuration - Unblock Tool (ツールのブロック解除)[Windows]]** または **[Endpoint Configuration - Unblock Tool (ツールのブロック解除)[Non-Windows]]** パッケージをデプロイする必要があります。

7. (任意) エンドポイントからすべてのDirect Connectデータベースとログを削除するには、**[Soft uninstall (ソフトアンインストール)]** を選択解除します。
8. (任意) Direct Connectのツールと依存関係があったすべてのツールあるいは他のモジュールのツールと依存関係がないすべてのツールも削除するには、**[Remove unreferenced dependencies (参照されていない依存関係の削除)]** を選択します。
9. **[Show Preview to Continue (プレビューを表示して続行)]** をクリックします。
10. ページ下部に結果グリッドが現れて、アクション対象のエンドポイントが表示されます。結果に問題がなければ**[Deploy Action (アクションのデプロイ)]** をクリックします。

エンドポイント設定を有効にしている場合、ツールがエンドポイントから削除されるには、エンドポイント設定でツールの削除が承認されている必要があります。

## Direct Connectをアンインストールする

Direct Connectは、複数のTaniumソリューションで使用される共有サービスです。Direct Connectが別のTaniumソリューションで使用されている場合、Direct Connectをアンインストールするか、エンドポイントからツールを削除すると、予期しない結果が生じることがあります。環境からのDirect Connectのアンインストールが望ましいかどうかについては、[support@tanium.com](mailto:support@tanium.com)にお問い合わせください。

1. メインメニューから **[Administration (管理)] > [Configuration (構成)] > [Solutions (ソリューション)]** に移動します。
2. **[Content (コンテンツ)]** セクションで、**[Direct Connect]** 行を選択します。
3. **[Delete Selected (選択項目を削除)]** をクリックし、**[アンインストール]** をクリックしてプロセスを実行します。

## Taniumサポートに問い合わせる

Taniumサポートに問い合わせるには、<https://support.tanium.com>にサインインします。